

しばらく見まもってください

ゆっくりと静かに話しかけてください

状況を把握してください

困っている
みたい...



- 自分の状況や気持ちをうまく伝えられない人もいます。
- 表示が見えない人や音が聞こえない人、文字やことばがわからない人もいます。
- 尋ねたことに対し、意図を理解しないで、すぐに「ハイ」、「うん」と答えてしまう人もいます。

- 具体的にゆっくりと、やさしく伝わっているか確かめながら話してください。
- 実物を示しながら尋ねてみてください。
- 伝えたいことは、ことばだけでなく絵や文字が用意できると理解を助けます。
- コミュニケーションボードを使ってみてください。

気になる
行動をしている...



- 不安になると気持ちを落ち着かせようと独特の動きをする人もいます。
(飛び跳ねる、体をゆらすなど)
- 社会のルールが理解できていないことがあります。
(恥ずかしいこと・自他の区別)

- 危険でなく周囲の人の迷惑でなければ、しばらく様子を見守ってください。
- 止めるときは、手や指で×をつくる動作をしながら静かに短い言葉で話しかけてください。
- それから具体的にゆっくりと、やさしく話しかけてみてください。
- コミュニケーションボードを使ってみてください。

危険な行動
や行為をしている...



- 状況の判断がつかず大きな不安を抱いたり、パニックを起こしやすくなる人もいます。
- 痛みの伝わり方が弱い人やうまく訴えることができない人もいます。見かけよりも症状が重い場合があります。
- 人ごみや大きな声、音、まぶしい光などが苦手な人もいます。

- 急に強い口調で注意したり、急に手を引っ張ったりすることは逆効果です。
- まずは具体的にゆっくりと、やさしく声をかけてください。
- また、手や身体で伝えたいことを表現して、危険な場所からの移動を試みてください。
- 混乱が大きいときは、静かな場所へ移動し、落ち着くまで見守ってください。
- 落ち着いたら、コミュニケーションボードを使ってみてください。

使 い 方

- ①ボードを見せて、意思や気持ちを指さしてもらおう。
- ②指さしできない時は、こちらが推測しながら尋ねる。
- ③次の行動を伝えてから実際の行動に移る。

共通



共通ボードで

- 身元確認
- 状況の把握
- 意思確認

↓
次のボード選択
(警察 or 救急)

警察

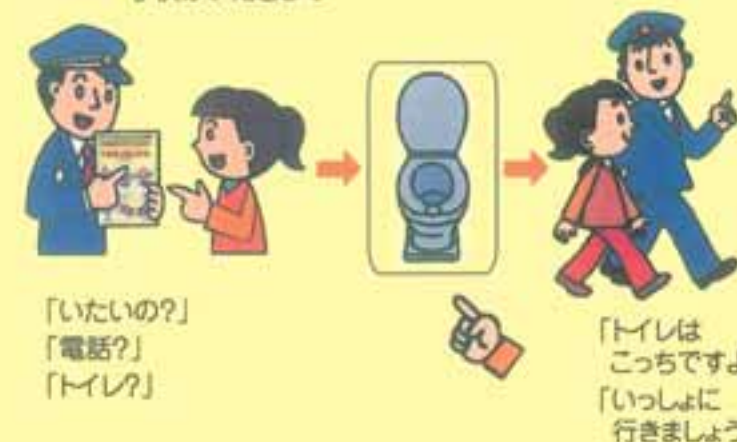


救急



たとえばこんな時...

○トイレに行きたい時、それを伝えられない
子供がいたとして



「いたいの？」
「電話？」
「トイレ？」

「トイレは
こっちですよ」
「いっしょに
行きましょう」